

スリット側溝蓋の排水能力について

スリット側溝蓋の排水能力を確認するために越流排水試験を実施

スリット側溝蓋は越流が発生することにより、本来の排水能力を発揮できない場合があります。そのため実際の設置箇所を想定した越流排水試験をおこなうことで、より実践値に近い排水能力を確認しました。

●試験装置写真



●製品部

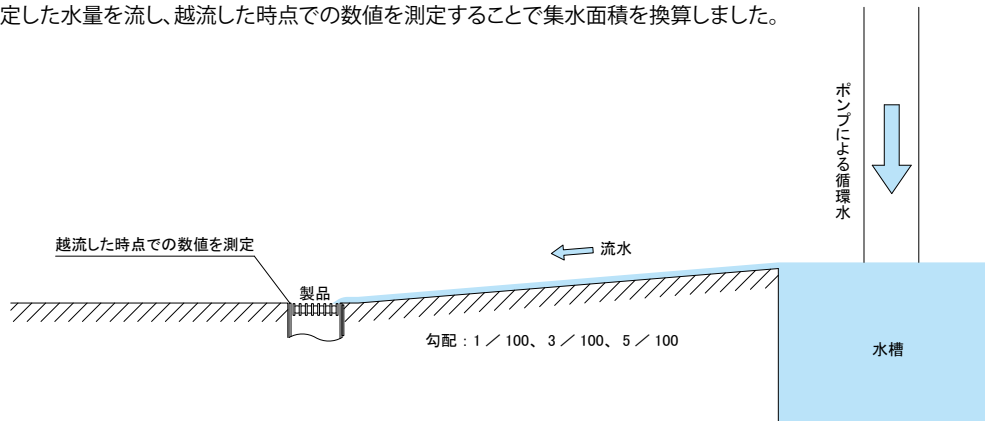


●越流時の様子



●試験概要

下図のような試験装置で設定した水量を流し、越流した時点での数値を測定することで集水面積を換算しました。



●上記試験より換算した降雨強度100mm/h時の製品長さ1m当たりにおける集水面積

製品名	LPSL10-25			DGSK-OST			NSB9-1623		
	ステンレス製スリット排水化粧蓋			鋳鉄製スレンダー側溝蓋			スチール製ナロー側溝蓋		
製品写真									
勾配	1/100	3/100	5/100	1/100	3/100	5/100	1/100	3/100	5/100
集水面積 ^{※1} (m ²)	176	136	128	96	80	72	96	72	56

※1 試験値に安全率0.8を乗じた値から算出した換算値

例1) DGSK-OSTが勾配3/100の場所に長さ10mで設置されていた場合、降雨強度100mm/h時の集水面積は80m² × 10 = 800m²となります。

例2) DGSK-OSTが勾配3/100の場所に長さ10mで設置されていた場合、降雨強度35mm/10min(210mm/h)時の集水面積は80m² × $\frac{100\text{mm/h}}{210\text{mm/h}}$ × 10 = 380m²となります。